

岐阜県博物館

友の会報

岐阜県博物館友の会

〒501-3941 関市小屋名1989
岐阜県博物館内
TEL (0575) 28-3111
(内線331)
FAX (0575) 28-3110
印刷 株式会社 岐阜文芸社

あこぎふ

岐阜県博物館館長

丹羽 和也



元日という誰もが穏やかな一年を願う日に起こった能登半島地震は、日本中を衝撃と悲しみで覆いつくしました。お亡くなりになった方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。被災地を思い、一日も早い復興を願いつつ、

普通の日常を過ごせることの尊さを忘れることなく、明日は我が身と日々備えていきたいと思えます。

岐阜県博物館友の会の皆様には、長きに亘って博物館の運営に格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。この四月に館長に就任して以降、経験のない文化行政に携わることの喜びと不安が入り混じった、ある意味心地よい時間を過ごさせていただいております。これまで受け継がれてきた伝統を大切にしつつ、自分なりに良いと思うことを精一杯進めていきたいと思えます。どうぞよろしく願っています。

さて、今年は岐阜県で「ともに・つながり・みらいへ」清流文化の創造」をキャッチフレーズに「清流の国ぎふ」

文化祭2024と清流の国ぎふ総文2024が開催されます。コロナ禍で制約を受け停滞を余儀なくされていた文化芸術活動が再び動き出し、県民総参加で盛り上げ、未来につながるべく、そんな大会となることを期待しています。

当館といたしましても、県主催事業や応援事業に位置づけた特別展、企画展を開催し、全県あげての一大文化イベントを大いに盛り上げていきたいと考えております。開催中の「返還30年 岐阜の赤羽刀総覧 美濃伝をたどる」は、第二次世界大戦後にGHQに接収され、その後返還された刀剣類（赤羽刀）の岐阜県内分を総覧する展覧会です。全国最多の赤羽刀を受領している関市と当館が同じタイトルを冠した連携展覧会を同時開催しており、両方合わせて百振りを超える美濃ゆかりの赤羽刀が勢揃いしています。七月中旬からの「ポケモン化石博物館」は、長い間、人気を博し続けている「ポケットモンスター」を通じて化石や古生物学

について楽しく学んでいただけの内容となっており、恐竜、化石は当館が誇る人気コンテンツで、開催期間が夏休み時期に重なることもあって、多くの方にご来場いただき、お楽しみいただけるものと思えます。十一月から始まる「寺院跡から見た岐阜の歴史 古代・中世寺院跡総合調査の成果より」は、文化財保護センターとの連携企画展で、岐阜県古代・中世寺院跡総合調査の成果報告と、県内の主な寺院跡の発掘調査の出土品を展示し、紹介するものです。調査報告会やシリーズ講座を合わせて行うこととしており、寺院跡を通じた岐阜の歴史に思いを馳せていただく機会となれると思えます。以上、どれも魅力溢れる企画と自負いたしておりますので、是非ともお出かけいただけますようお願いいたします。

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけも昨年途中には5類に移行し、当館の利用者数も徐々にコロナ前に戻りつつあります。これまで以上に多くの方にご利用いただき、満足していただけるよう職員一同取り組んでまいりますので、皆様におかれましては忌憚のないご意見を頂戴できれば幸いです。

この一年が、友の会の皆様にとって素晴らしい年となりますようお願いいたします。

「ポケモン化石博物館」

岐阜県博物館 学芸部 高津 翔平

「ポケモン化石博物館」は株式会社ポケモンの協力のもと、国立科学博物館や三笠市立博物館をはじめとする複数の博物館が協働・制作した巡回展です。「ポケモンと古生物」をテーマに、科学の基本的な手法である「観察」と「比較」を通じて、自然科学の研究活動に興味をもつきっかけを与えてくれます。同展覧会は2021年の夏に三笠市立博物館での開催を皮切りに、日本各地を巡回しており、本年7月19日にいよいよ岐阜県博物館へとやってきます。

人気ゲーム『ポケットモンスター』シリーズに登場するふしぎな生き物「ポケモン」にはカセキから復元されるポケモン(以下「カセキポケモン」と呼ぶ)がいくつか知られています。本特別展では、「カセキポケモン」と私たちの世界で見つかる「化石・古生物」を見比べて、似ているところや異なっているところを発見し、古生物学について楽しく学ぶことができます。ポケモンの世界の「カセキ博士」とお手伝いの「発掘ピカチュウ」、私たちの世界の博士たちの案内で展示をめぐり、それぞれの世界の「かせき」をじっくり見比べてみましょう。

※展示予定の標本・資料は都合により変更となる場合があります。



© 2024 Pokémon. © 1995-2024 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.
ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは 任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。

企画展

「返還30年 岐阜の赤羽刀総覧：
美濃伝をたどる」のご案内

令和6年4月20日(土)～6月23日(日)

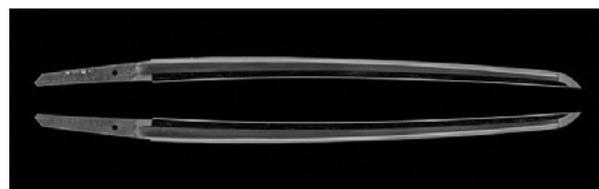
岐阜県博物館 学芸部 南本 有紀

岐阜県内の接収刀剣類、いわゆる赤羽刀を総覧する展覧会をご紹介します。赤羽刀とは、第二次世界大戦後、日本の武装解除の一環でGHQ（連合軍最高司令官総司令部）に接収された後、文化財として返却され、全国の公立博物館等に譲渡された日本刀です。

岐阜県博物館は全国でも2番目に多い168点の赤羽刀を所蔵し、平成11年から少しずつ研磨等、公開のための整備を進めてきました。赤羽刀譲渡のきっかけとなった「接収刀剣類の処理に関する法律」（1995）から間もなく30年を迎えることから、この展覧会を企画しました。同じく赤羽刀を所蔵する県内の3機関（関市、岐阜市歴史博物館、大垣市教育委員会）からの借用を含め、当館と関市の赤羽刀を中心に、71点を展示します。

連携展示として、会期を同じくする関鍛冶伝承館企画展「美濃伝の継承者たち 岐阜の赤羽刀総覧」を実施するほか、わかかさ・プラザ（関市）でもサテライト展示を行います。また、同時期に岐阜市歴史博物館の総合展示室「美濃刀・美濃の焼き物」コーナーでも、同館蔵の赤羽刀が展示されます。これらを含めて総計120点を超える県内の赤羽刀が一度にご覧いただける絶好の機会となります。

美濃鍛冶の始まりである西郡・赤坂鍛冶から最盛期の関鍛冶、さらに幕末の美濃刀まで、古くは室町時代の兵変から先の戦争まで、あまたの戦乱を潜り抜け、多くの先人の努力で伝世された郷土刀の一大コレクション群と出会うまたとない好機です。ぜひ来場・鑑賞ください。



▲脇差 銘 丹波守藤原照門／寛文十年二月吉日
(岐阜県博物館蔵・撮像 中村慧)

マイミュージアムギャラリー 第2回展示
「龍神降臨」

令和6年5月25日(土)～6月30日(日)

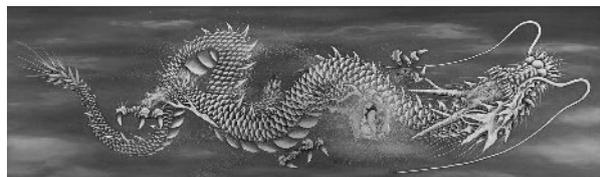
岐阜県博物館 学芸部 石井 宏明

令和6年度の第2回目は、森田豊裕さんによる「龍神降臨」を開催します。

12年に1度の辰年にちなみ、「龍」に焦点を当てた展示を企画しました。1200年の昔、神戸町から揖斐川町にかけて、龍神信仰が連綿と継承されてきました。今回は、これらに因んだ様々な龍の展示をします。中でも、全長21mにもなる夜叉龍は、龍神道中舞で使用

されるものになります。他、龍図や龍図の着物を展示します。

また、1200年の昔から全国に知られた夜叉ヶ池伝説の宗家・石原傳兵衛家に伝わる貴重な絵図類も併せてご覧いただけます。今回の展示で森田さんは、夜叉ヶ池龍神伝説を通して水の重要性を伝えていきたいと考えています。



▲白龍宝珠観音図
高松邦仙・國井石華合作(善徳寺蔵)



▲夜叉龍(揖斐川町蔵)

国登録有形文化財
みやかわ

旧宮川家住宅主屋(旧徳山村民家)の 公開再開について

岐阜県博物館 学芸部 長野 宜延

岐阜県博物館が所蔵する宮川家住宅主屋（旧徳山村民家）は、明治初期に作られたと推定され、近世末期から近代初期にかけての山村における建築・生活様式を伝える貴重な建造物として、平成30年に国登録有形文化財に登録されています。

同施設は、廃村となった旧徳山村から昭和62年に百年公園に移築されました。その後、長きにわたり公開していましたが、建物の老朽化や耐震強度の点から平成27年より内部の公開を停止していました。



▲完成した旧宮川家住宅主屋(旧徳山村民家)

令和元年より5年の歳月をかけて耐震補強、防災防犯設備の設置、茅の葺替え工事などの保存修理事業を行い、令和5年度末にすべての工程が完了しました。

きれいに葺替えられた茅の屋根、かつて実際に生活を送られた民家の内部、毎日の生活の中で使用された民具など、徳山村の厳しい冬を乗り越えた民家における生活が推し量っていただけたと思います。

また、定期的に囲炉裏に火を入れて炊く予定ですので、ぜひ温かみを感じていただきたいと思います。

今後、来館者を募って、施設を利用する様々な体験プログラムを検討していきます。その際は、ぜひご参加いただけたら幸いです。

会員の声

博物館は、豊かな想像力を育てる場

岐阜県博物館 友の会 長谷川 守

私は、博物館の常設展示を見て過去の正解を想像しながら回るのが楽しい。

イグアノドンやアロサウルスなど恐竜の化石は、中生代の巨大な生き物が目の前に立ちふさがるように思えてしまうことがある。

旧石器時代の下呂石による紙の切断体験は、下呂石の剥片が鋭い切れ味を示すことを実感させてくれる。太古の絶滅人類が石の剥片で手足をケガしたとき時に、その剥片で動物の皮や肉を切れると気づいたのではないかと想像してしまう。

縄文土器の多様な形や細かい表面の模様は、縄文人の豊かな精神活動を想像させてくれる。

このように、博物館の展示物は、今は無き絶滅動物や過去の人類の活動（目の前にないもの、見えないもの）を想像する手がかりを与えてくれる。見えないものを想像する力は、人類が進化の中で獲得したものであり、人類という種のみが持っていると考えられます。

しかしながら、便利グッズにまみれた現代人は、その想像力を弱体化させてきているのではないかと危惧します。（勝手な思い込みかもしれませんが）

博物館は、豊かな想像力を育てる重要な社会的役割があるのではないかと考えてならない。



サポーター認証式を実施しました。

岐阜県博物館 学芸部 則竹 裕嗣

毎年、博物館では年度初めにサポーター認証式を行っています。ここ数年、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施していませんでしたが、昨年度再開し、今年度も無事、実施することができました。

今年度は84名の方がサポーター登録を行っていたとき、そのうち25名が認証式に参加いただけました。



参加いただいたサポーターの方に館長からサポーター証が授与され、また、活動経験年数に応じて感謝状が授与されました。5年継続の方は「ブロンズ」、10年継続の方は「シルバー」、15年継続の方は「ゴールド」、20年継続の方は「プラチナ」という形で表彰し、今年度表彰の対象となったのはプラチナ1名、シルバー3名、ブロンズ3名です。サポーターに登録している方の多くが長年にわたり博物館活動を支援いただいております。その一方、11名が今年度新規でサポーターに登録され、新たなメンバーを迎えて活動しています。

サポーター活動は主に3つのグループに分かれています。1つ目は体験活動支援です。けんぱく教室やわくわく体験などの支援、学校団体への学習活動支援を行っており、来館者へ直接関わる活動となります。2つ目は資料収集整理活動です。骨格標本の作製や里山調査、標本・資料整理などを行っており、自然、人文の専門性を生かした支援活動になります。3つ目は催事です。最近では令和6年4月に公開された旧徳山村民家の活用について準備、作業を行っており、博物館催事の運営活動になります。サポーターの皆様には専門性を生かせるグループで活動いただいています。

友の会の皆様の中には、サポーターとして博物館の活動を支えていただいている方もみえます。お知り合いの方で博物館のサポーター活動に興味がある方がお見えでしたら、お声がけいただけますと幸いです。

岐阜県博物館からのお知らせ

○令和6年度がスタートしました



4名の新しい職員と昨年度10月から着任の1名の5名です。皆さまに清流の国ぎふの自然・歴史・文化により親しみ、誇りを持っていただけるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

友の会事務局からのお知らせ

★令和6年度友の会の主な活動について

- 会 議 ・11月14日(木) 秋季理事会
・3月8日(土) 会長・副会長会議
- 委員会 ・会報委員会 4月11日(木)
・探訪の旅委員会
・七草委員会
- 友の会報 3回発行
・140号(6月)、141号(10月)、142号(2月)
- 博物館との共催事業
・けんぱく教室、わくわく体験
・「七草がゆを食べよう」は今年度も開催しません。
- 探訪の旅
春の国内探訪の旅：「本居宣長ゆかりの地と三重県総合博物館」(最少催行人数に満たず中止)
宿泊探訪の旅：四国・高知方面で計画中
12月か2月に予定
9月頃ご案内予定
- 特別展「ポケモン化石博物館」観覧について
人気企画で多くの方の観覧が予想されますので、快適にご観覧いただくため予約制をとります。友の会会員のみなさまも予約が必要となりますのでご注意ください。また、多くの方にご観覧していただくため会員特典の無料観覧は1回に制限します。2回目以降の観覧は有料となります。あしからずご了承ください。